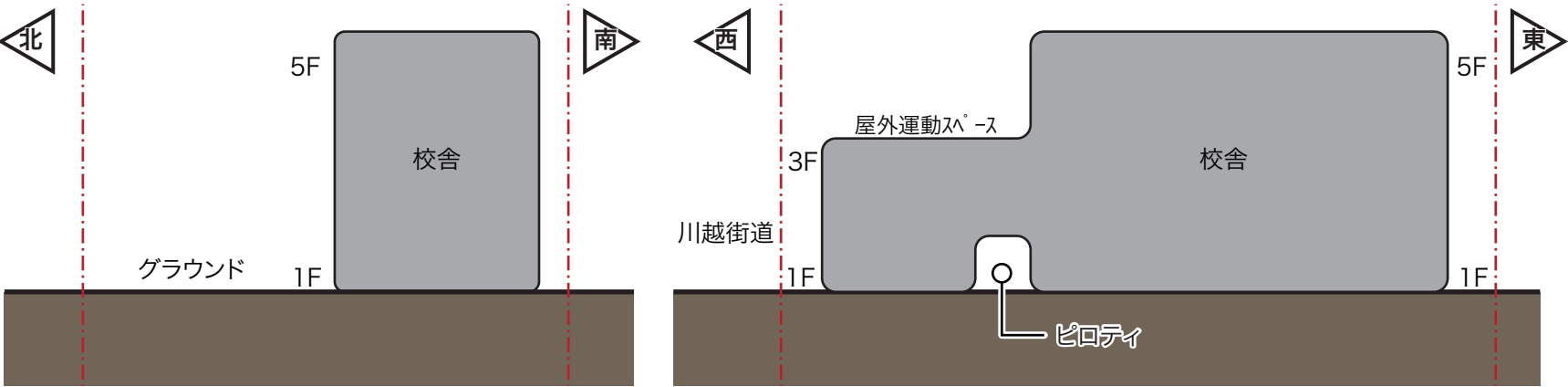
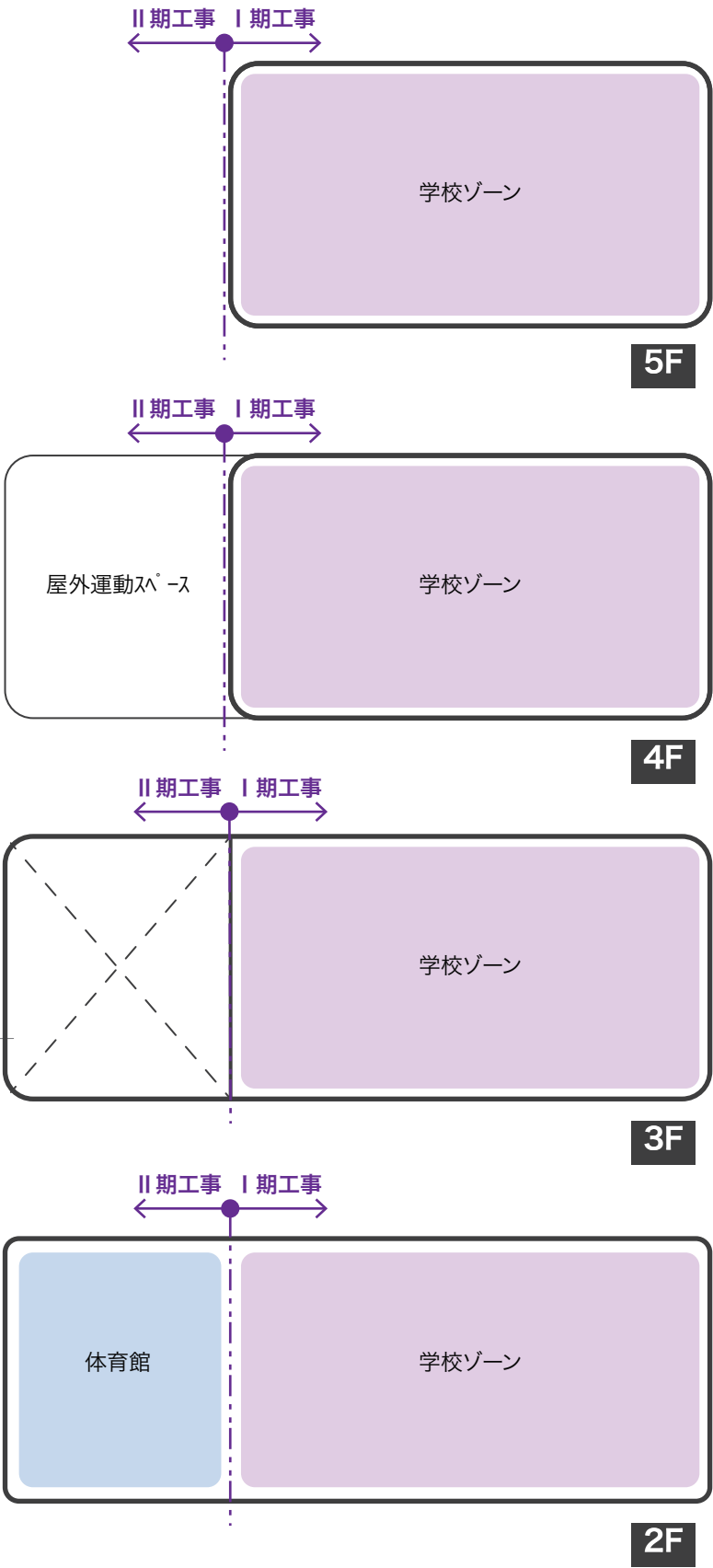


敷地南側配置（段階整備）案 **A 案**

※工期は概算です。設計内容により変更となる場合があります。

メリット	・他案と比較して低層のため、近隣への圧迫感軽減 ・日常的な児童の縦移動が少ない(2-5F:4フロア)ため、移動の負担が軽減される ・屋外倉庫が校舎内に含まれるため、別棟の屋外倉庫は不要になり、屋外空間が最大限確保できる ・ピロティにより、いち早く学校敷地内に入ることができる ・屋上を運動スペースとして利用できる
デメリット	・あいキッズはII期工事となるため、I期完成後は既存あいキッズ棟を利用しながら、II期工事を行う必要がある ・工事中に体育館がない時期が生じるため、対策が必要となる。
工期	69か月
取り入れた意見	・ピロティ ・屋上運動スペース ・駅に近い門

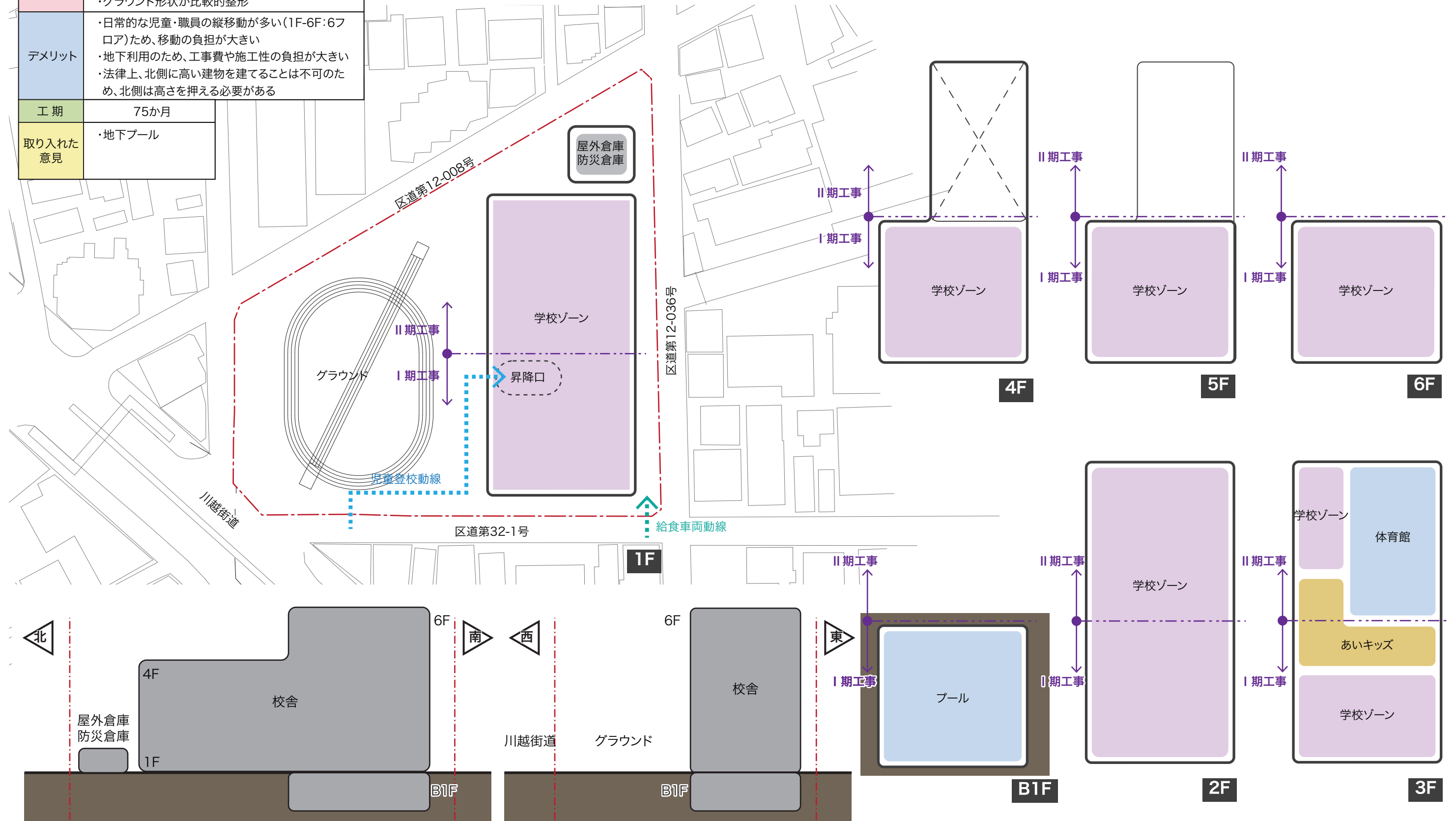


■断面イメージ

敷地東側配置（段階整備）案 B 案

※工期は概算です。設計内容により変更となる場合があります。

メリット	・体育館・プールが常にある ・グラウンド形状が比較的整形			
デメリット	・日常的な児童・職員の縦移動が多い(1F-6F:6フロア)ため、移動の負担が大きい ・地下利用のため、工事費や施工性の負担が大きい ・法律上、北側に高い建物を建てることは不可のため、北側は高さを押える必要がある			
工期	75か月			
取り入れた意見	・地下プール			



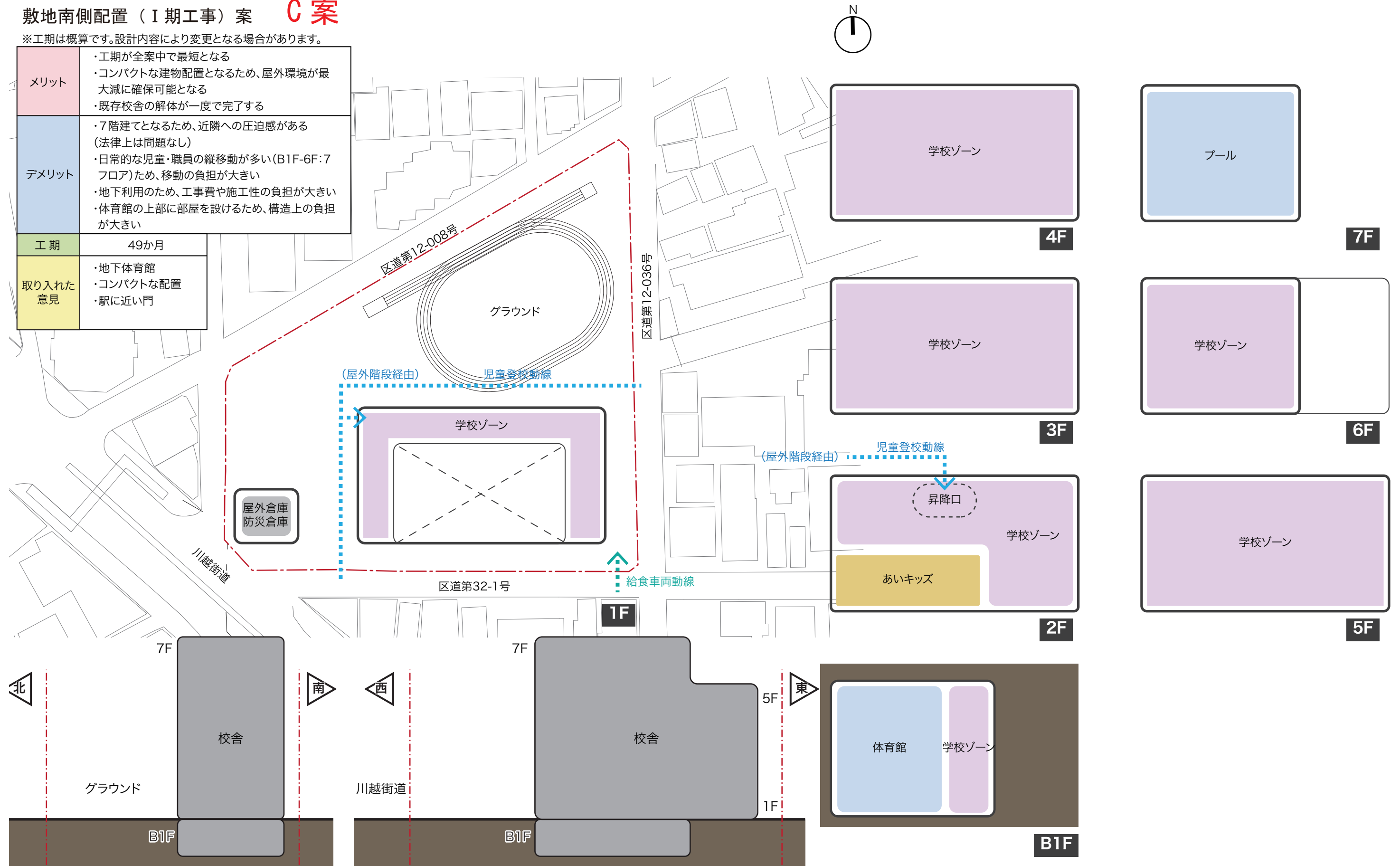
※プールは屋上にすることもできる

■断面イメージ

敷地南側配置（Ⅰ期工事）案 C 案

※工期は概算です。設計内容により変更となる場合があります。

メリット	・工期が全案中で最短となる ・コンパクトな建物配置となるため、屋外環境が最大減に確保可能となる ・既存校舎の解体が一度で完了する	
デメリット	・7階建てとなるため、近隣への圧迫感がある(法律上は問題なし) ・日常的な児童・職員の縦移動が多い(B1F-6F:7フロア)ため、移動の負担が大きい ・地下利用のため、工事費や施工性の負担が大きい ・体育館の上部に部屋を設けるため、構造上の負担が大きい	
工期	49か月	
取り入れた意見	・地下体育館 ・コンパクトな配置 ・駅に近い門	



■断面イメージ